



ROPS 搭載型 日よけ Workman® GTX 汎用作業車用

モデル番号07169—シリアル番号 400000000 以上

取り付け要領

安全について

⚠ 警告

カリフォルニア州 第65号決議による警告

米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

横転保護バーROPSについての 安全確認

- ROPSは機体から外さないでください。
- 必ずシートベルトを着用し、緊急時にはシートベルトを迅速に外せるよう練習しておいてください。
- 頭上の障害物に注意し、これらに衝突しないように注意してください。
- ROPS自体に損傷がないか、また、取り付け金具がゆるんでいないか、定期的に十分に点検を行い、万一の際に確実に役立つようにしておいてください。
- ROPSが破損した場合は新しいものに交換してください。修理したり改造しての使用はしないでください。
- ROPS横転保護バーはマシンと一体で使用する重要な安全装置です。
- 運転時には必ずシートベルトを着用してください。

安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



136-6314

decal136-6314

1. 警告 オペレーターズマニュアルを読むこと運転時にはシートベルトを着用し、転倒に注意すること。
2. 警告 ROPS は修理や改造をしないこと。



取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

| 手順 | 内容 | 数量 | 用途 |
|----|---|------------------------|---------------------|
| 1 | 必要なパーツはありません。 | － | マシンの準備を行います。 |
| 2 | 必要なパーツはありません。 | － | シートアセンブリを取り外します。 |
| 3 | 必要なパーツはありません。 | － | 手すりを取り外します。 |
| 4 | 必要なパーツはありません。 | － | サイドパネルを取り外します。 |
| 5 | 必要なパーツはありません。 | － | ゴムカバーを取り外します。 |
| 6 | 必要なパーツはありません。 | － | ROPS ブラケット用の穴を開けます。 |
| 7 | 必要なパーツはありません。 | － | ゴムカバーを切り取ります。 |
| 8 | ケーブルタイ プラスチック製リベット | 2 4 | ゴムカバーを取り付けます。 |
| 9 | 必要なパーツはありません。 | － | サイドパネルをトリミングします。 |
| 10 | 左側 ROPS ブラケット 右側 ROPS ブラケット フランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x 3 インチ 平ワッシャ $\frac{1}{2}$ インチ ロックナット $\frac{1}{2}$ インチ | 1 1 6 10 6 | ROPS ブラケットを取りつけます。 |
| 11 | ROPS バー フランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x 3 $\frac{1}{2}$ インチ ロックナット $\frac{1}{2}$ インチ | 1 4 4 | ROPSを取り付けます。 |
| 12 | 必要なパーツはありません。 | － | サイドパネルを取り付ける。 |
| 13 | 必要なパーツはありません。 | － | 手すりを取り付けます。 |
| 14 | シートベルト 座席ラッチ 六角ヘッドボルト $\frac{7}{16}$ x $\frac{1}{4}$ インチ 平ワッシャ $\frac{7}{16}$ インチ ロックナット $\frac{7}{16}$ インチ | 2 2 4 8 4 | シートベルトを取り付ける。 |
| 15 | 必要なパーツはありません。 | － | 座席アセンブリを取り付けます。 |

| 手順 | 内容 | 数量 | 用途 |
|----|------------------------|----|-----------------------|
| 16 | 左風防サポート | 1 | ROPS エクステンションを取りつけます。 |
| | 右風防サポート | 1 | |
| | 前サポート | 1 | |
| | 後日よけサポート | 1 | |
| | 左前マウントブラケット | 1 | |
| | 右前マウントブラケット | 1 | |
| | 左後マウントブラケット | 1 | |
| | 右後マウントブラケット | 1 | |
| | 左後コーナーガセット | 1 | |
| | 右後コーナーガセット | 1 | |
| | 左前コーナーガセット | 1 | |
| | 右前コーナーガセット | 1 | |
| | 前クロスリンク | 1 | |
| | クロスリンクチューブ | 2 | |
| | フランジナット5/16 インチ | 28 | |
| | ナット¼ インチ | 2 | |
| | 六角ヘッドフランジボルト¼ x 1½ インチ | 2 | |
| | キャリッジボルト5/16 x 1¾ インチ | 16 | |
| | 六角フランジボルト5/16 x 1 インチ | 2 | |
| | キャリッジボルト5/16 x 2¾ インチ | 6 | |
| | キャリッジボルト5/16 x 1 インチ | 4 | |
| 17 | サンシェード | 1 | 日よけを取り付けます。 |
| | クリップ | 2 | |
| | シーリングワッシャ | 4 | |
| | 六角フランジボルト¼ x 1 インチ | 4 | |
| | フリクションワッシャ | 2 | |
| | プラスチックワッシャ | 4 | |
| | フランジブッシュ | 2 | |

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る。

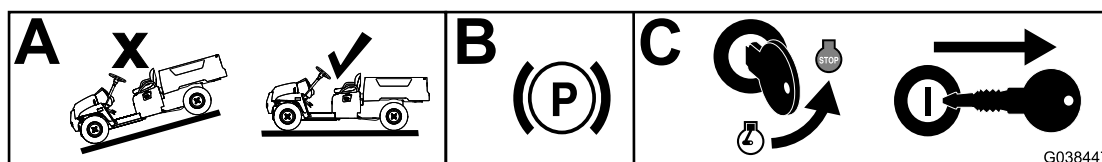


図 1

g038447

2

シートアセンブリを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

1. シートアセンブリを前に倒す。
2. 座席アセンブリを横にスライドさせてピンから外して吊り上げる 図 2。

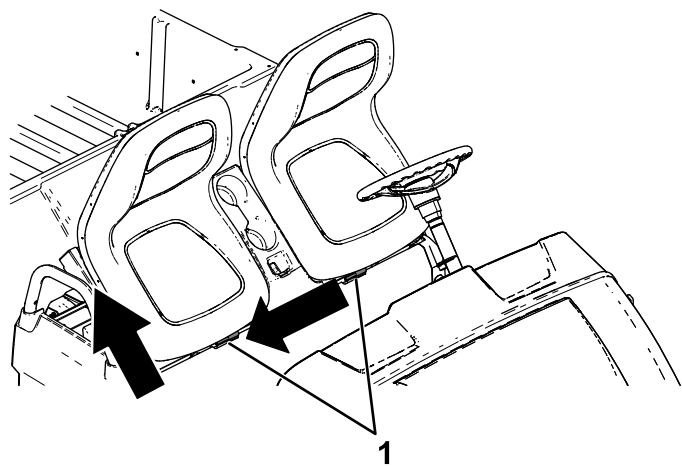


図 2

g190187

1. ピン

3

手すりを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

左右の手すりから、フランジボルト5/16 x ¾ インチ3本とフランジナット5/16 インチ3個を外して手すりを取り外す 図 3と図 4。

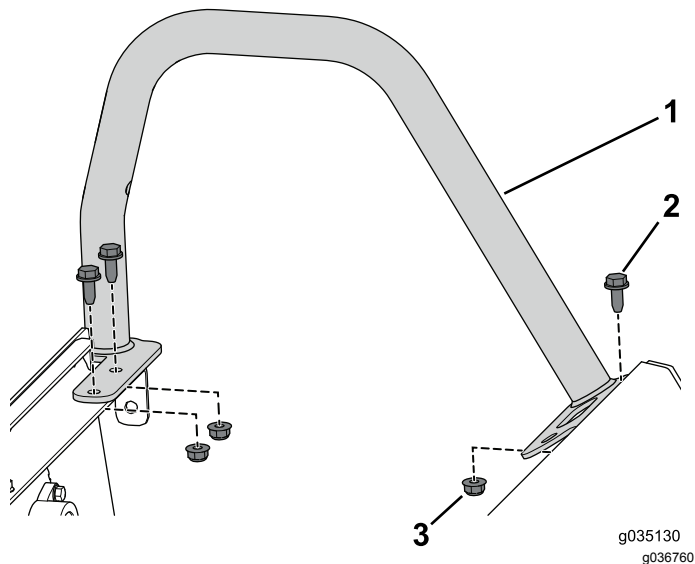


図 3

図は左側の手すり

1. 左側の手すり
2. フランジボルト5/16 x ¾ インチ
3. フランジナット5/16 インチ

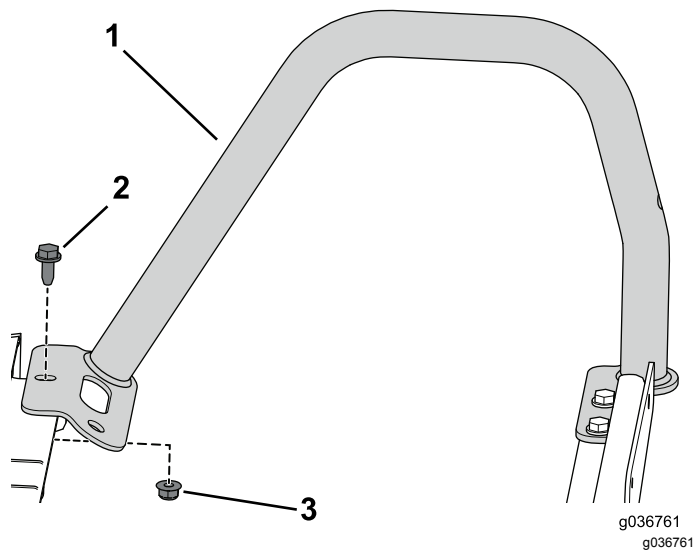


図 4

図は右側の手すり

1. 左側の手すり
2. フランジボルト5/16 x ¾ インチ
3. フランジナット5/16 インチ

4

サイドパネルを取り外す

必要なパーツはありません。

電動車両の場合

1. 充電ブラケットからチャージャと充電ケーブルを取り外す [図 5](#)。

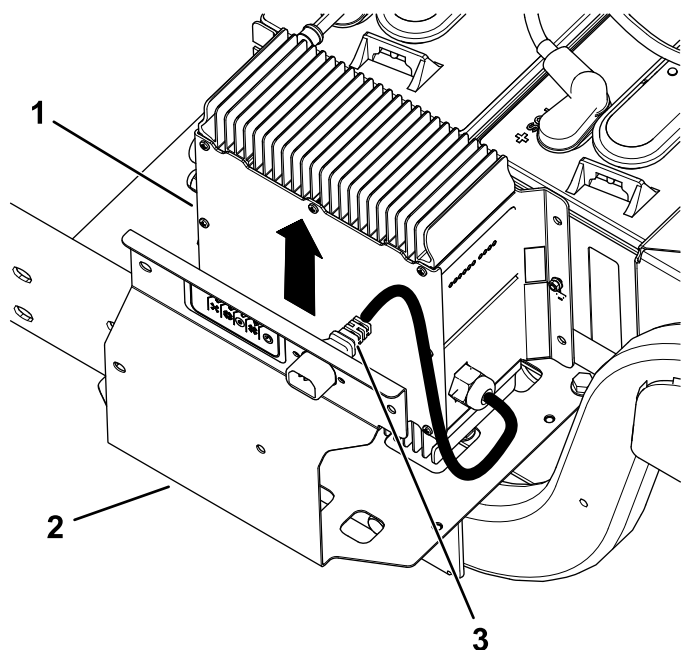
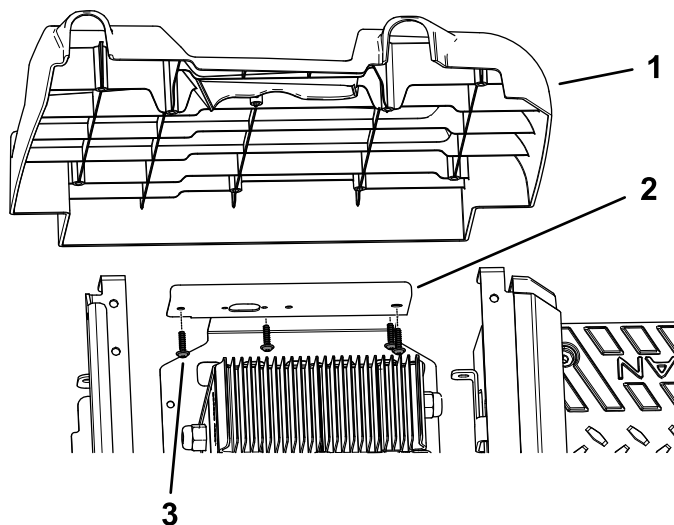


図 5

図は左側を示す

1. チャージャ
2. チャージャのブラケット
3. 充電ケーブル

2. T30 ソケットレンチを使って、チャージャのブラケットを左側パネルに固定している Torx ヘッドねじ M6.0 x 22mm 4本を外す [図 6](#)。



g193101

図 6

図は左側を示す上から見た図

1. 左側パネル
2. チャージャのブラケット
3. T30 ソケットレンチを使って、左側パネルから Torx ヘッドねじ M6.0 x 22mm 4本を外してパネルを外す [図 7](#)。

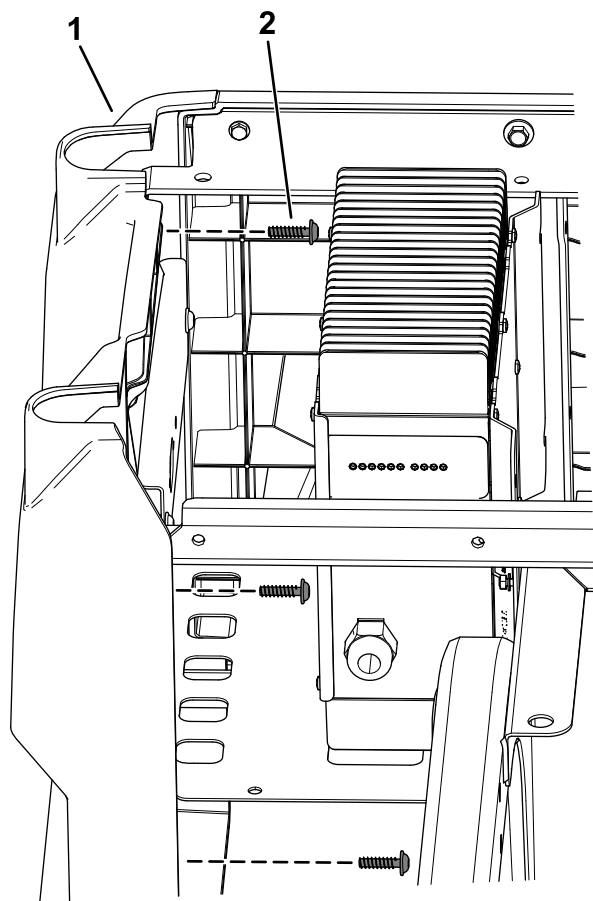


図 7

図は左側を示す

g193100

1. 左側パネル
2. Torx ヘッドねじM6.0 x 22 mm)

4. 右側でもステップ3の作業を行う。
5. バッテリーの接続を外す; マシンのオペレーターズマニュアルを参照。

注 バッテリーの取り外しは正しい手順を守って行ってください。マイナス黒ケーブルを先に外し、その後にプラス赤ケーブルを外すのが正しい手順です。

ガソリン車両の場合

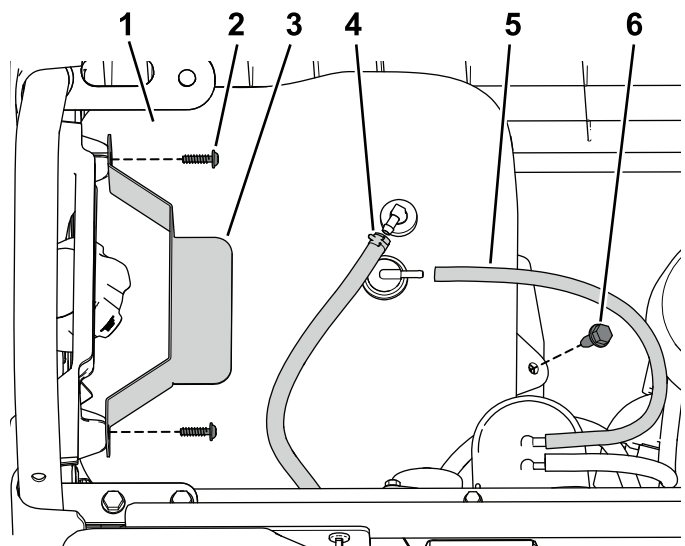
1. 燃料タンクから通気チューブと燃料ラインを外す
図 8。

⚠ 危険

燃料は非常に引火爆発しやすい物質である。発火したり爆発したりすると、やけどや火災などを引き起こす。

- 燃料タンクからの燃料の抜き取りはエンジンが冷えてから行う。この作業は必ず屋外の広い場所で行う。こぼれた燃料はふき取る。
- 燃料取り扱い中は禁煙を厳守し、火花や炎を絶対に近づけない。

2. タンク押さえを左側パネルに固定している2本のねじを外してタンク押さえを外す 図 8。
3. 燃料タンクをタンクトレイに固定しているフランジボルトを外してタンクを外す 図 8。



g033946
g033946

図 8

図は左側を示す上から見た図

1. 燃料タンク
2. ねじ
3. 押さえ棒
4. 燃料ライン
5. 通気ホース
6. フランジボルト

4. T30 ソケットレンチを使って、左側パネルから Torx ヘッドねじ M6.0 x 22mm 6本を外してサイドパネルを外す 図 9。

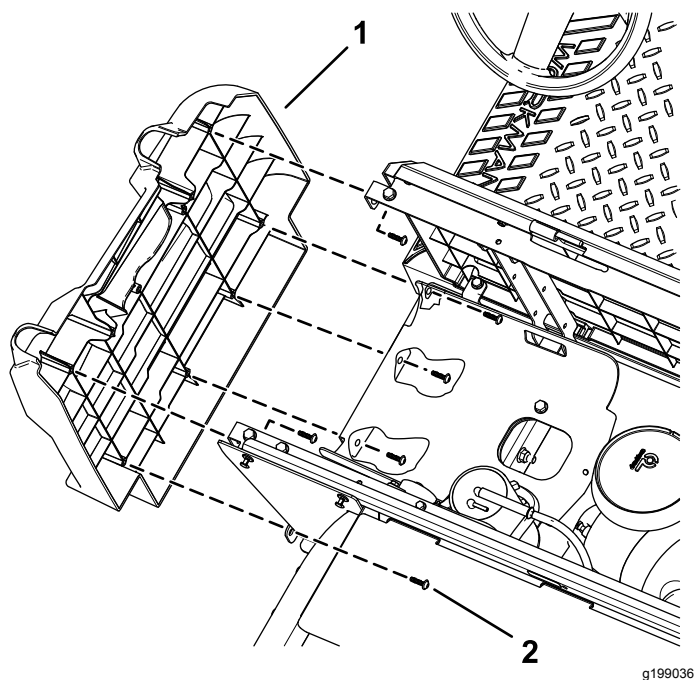


図 9

図は左側を示す上から見た図

1. サイドパネル
2. Torx ヘッドねじ M6.0 x 22mm)

5. 図 10 のように、バッテリーからマイナス-ケーブルを外し、次にプラス+ケーブルを外す。

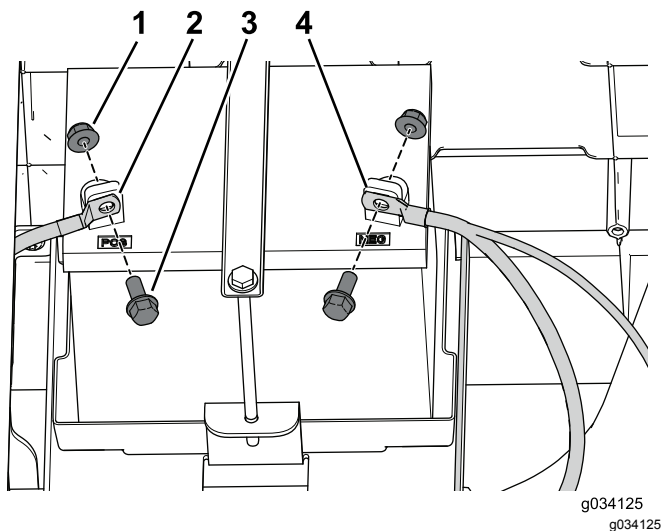


図 10

図は右側を示す上から見た図

1. ナット
2. プラス+ケーブル
3. ボルト
4. マイナスケーブル

6. バッテリートレイをフレームに固定しているフランジヘッドボルト 5/16 x 3/4 インチ 2本を外し、次に T30 ソケットレンチを使って、右サイドパネルを固

定している Torx ヘッドねじ M60 x 22mm 4本を取り外して、右サイドパネルを外す 図 11。

注 バッテリーは 図 11 のように、サイドパネルごと外れてきます。

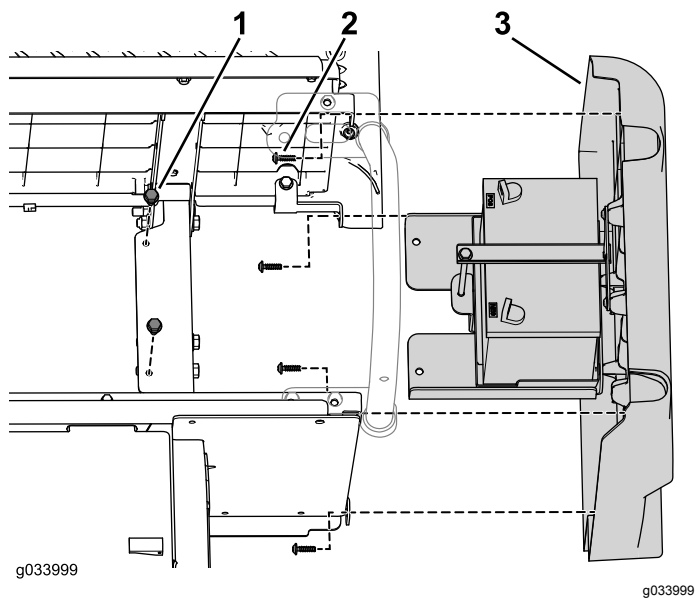


図 11

図は右側を示す上から見た図

1. フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4 インチ
2. Torx ヘッドねじ M6.0 x 22mm)
3. 右側パネル

5

ゴムカバーを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

各ゴムカバーを固定しているプラスチック製リベットそれぞれ10本とケーブルタイを外してカバーを外す 図 12。

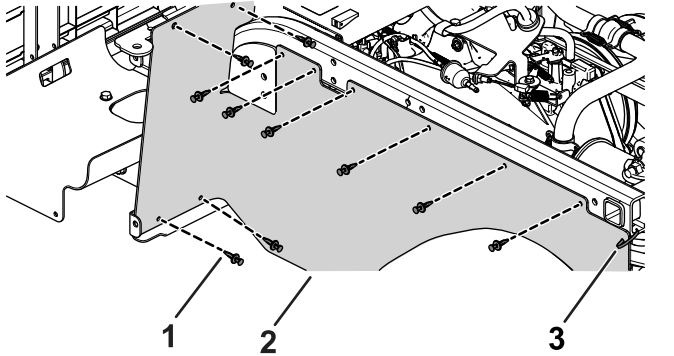


図 12

図は左側を示す

1. プラスチック製リベット10個
2. ゴムカバー
3. ケーブルタイ

6

ROPS ブラケット用の穴を開ける

必要なパーツはありません。

手順

1. 図 13に示すように、シートベースの後ろ側にある2つの穴と、フレームレールの前方にある穴にROPS ブラケットを合わせる。

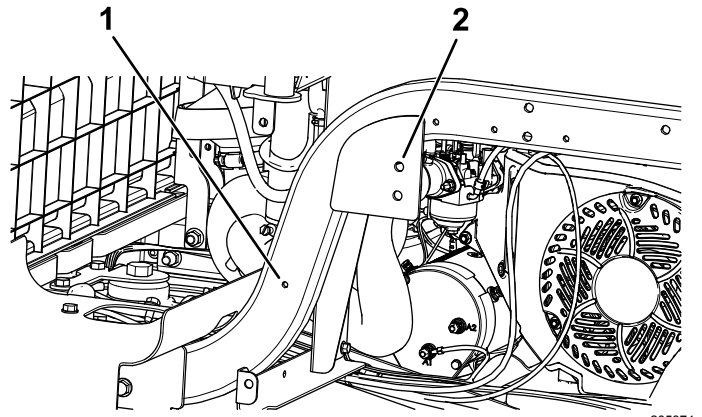


図 13

図は左側を示す

1. フレームレール前方の穴
2. シートベース後部の2つの穴
2. ROPS ブラケットをクランプで固定する。
3. ROPS ブラケットに、穴の位置をマーキングする 図 13。
4. ROPS ブラケットを型紙にして、フレームに、直径 13.5mm の穴を3つ開ける 図 14。

▲ 注意

電動車両では、フレーム右側への穴開けの際に注意が必要です。

ドリルを深く入れすぎると、バッテリーなどを傷つける可能性があります。

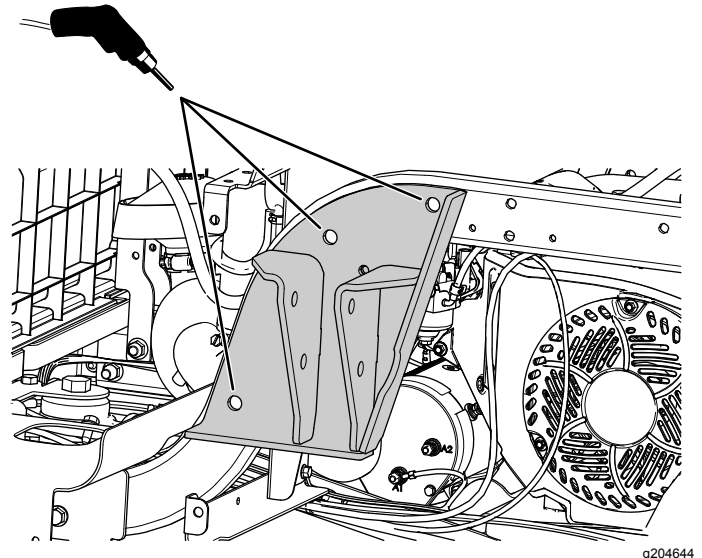


図 14

図は左側を示す

5. 反対側でも同じ作業を行う。

7

ゴムカバーを切り取る

必要なパーツはありません。

手順

図 15 の寸法にゴムカバーを切り取る。

注 切り取った部分に ROPS ブラケットが取り付けます。

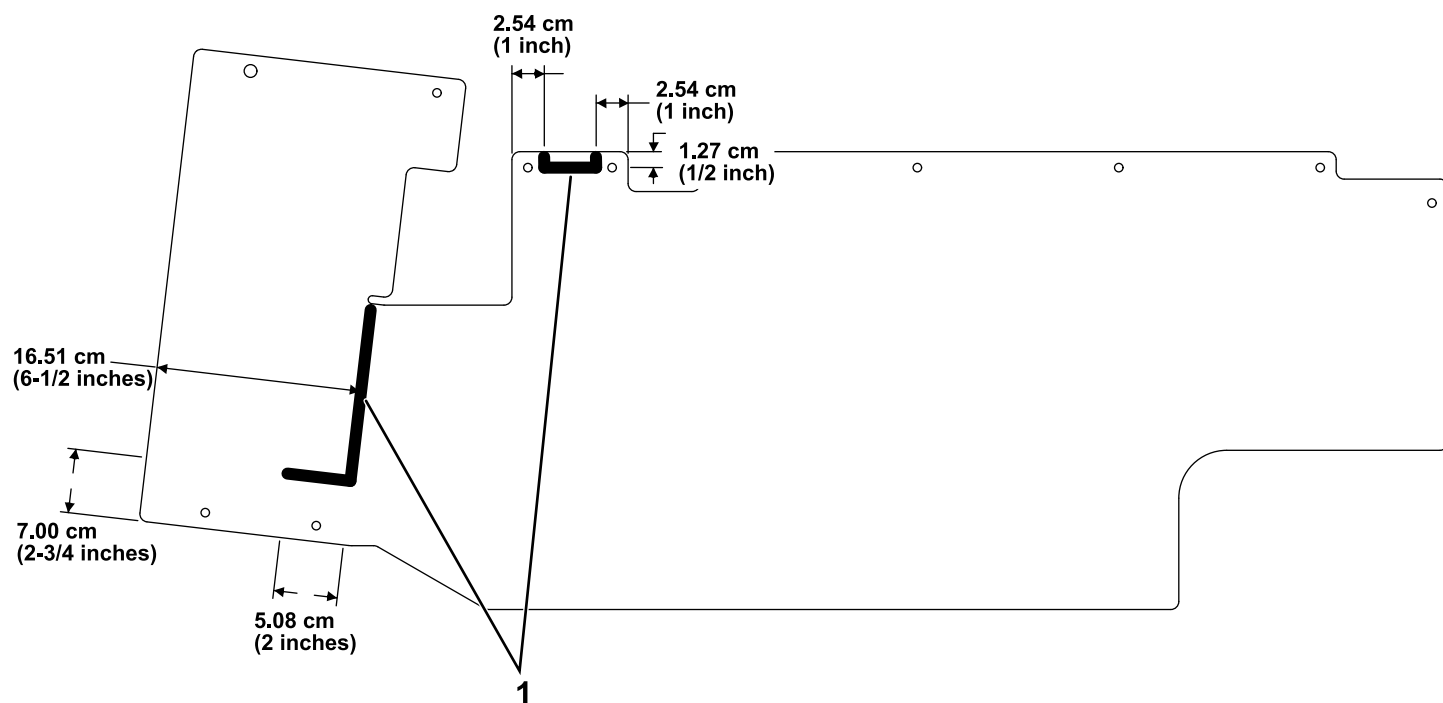


図 15

g217562

1. 切り取り部分

8

ゴムカバーを取り付ける

この作業に必要なパーツ

| | |
|---|-------------|
| 2 | ケーブルタイ |
| 4 | プラスチック製リベット |

手順

先ほど外したプラスチック製リベット各10とケーブルタイを使用して、ゴムカバーを取り付けます 図 16。

以前のリベットが破損していたりした場合には、キット付属のリベットを使ってください。

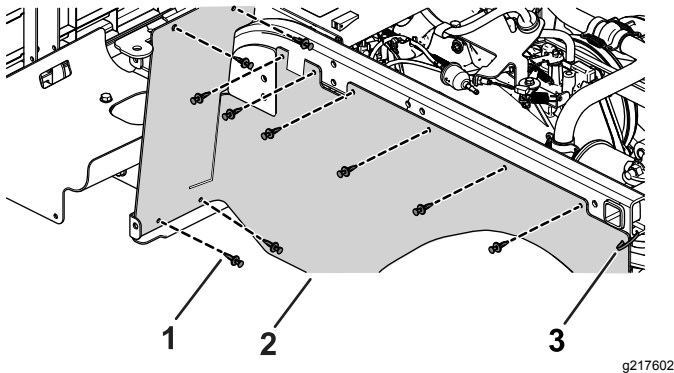


図 16

図は左側を示す

1. プラスチック製リベット10個 3. ケーブルタイ
2. ゴムカバー

9

サイドパネルのトリミングを行う

必要なパーツはありません。

手順

図 17 の寸法にサイドパネルをトリミングする。

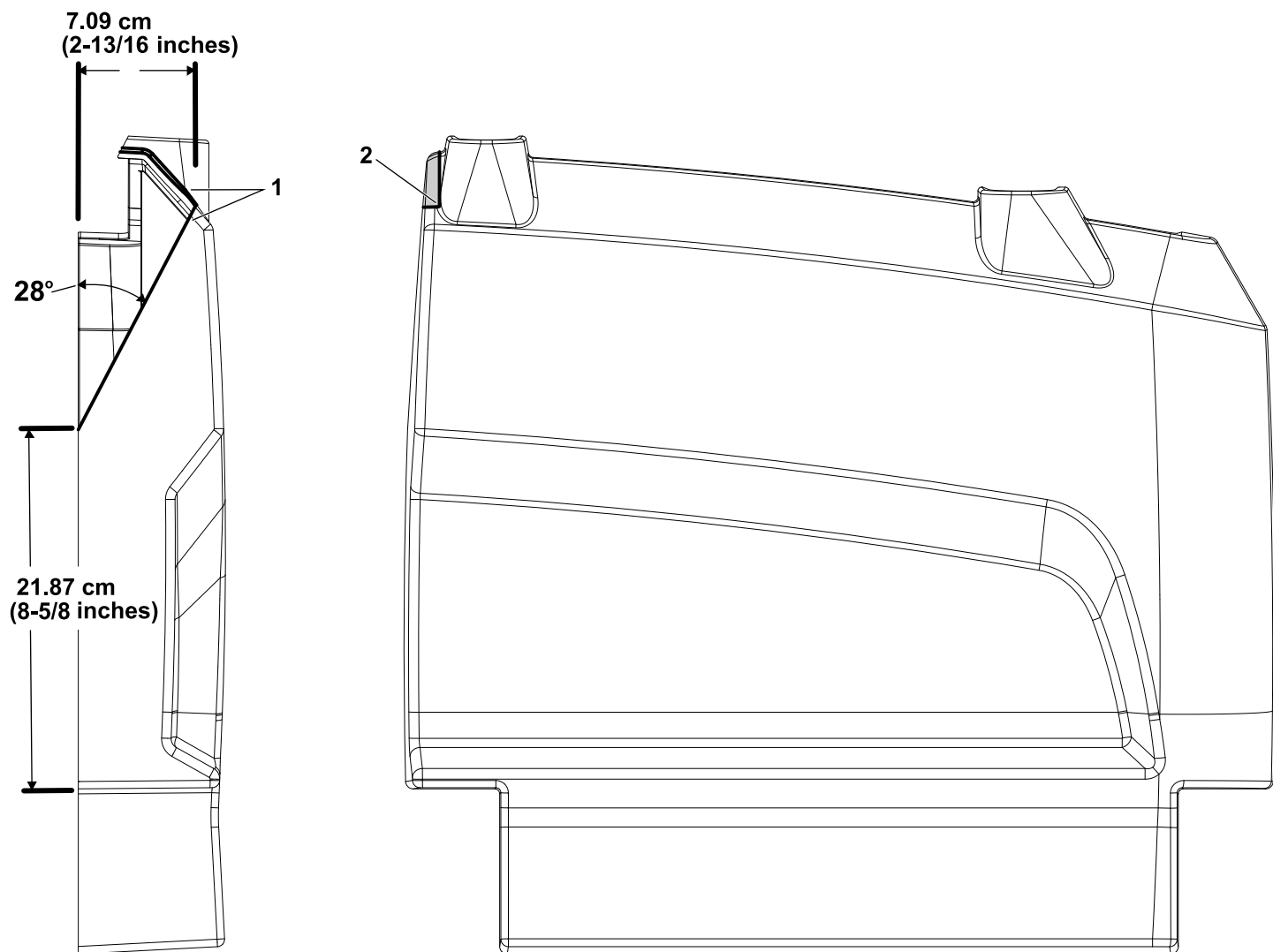


図 17

g217567

1. このラインまでカット

2. このコーナーまでカット

10

ROPS ブラケットを取りつける

この作業に必要なパーツ

| | |
|----|----------------------------------|
| 1 | 左側 ROPS ブラケット |
| 1 | 右側 ROPS ブラケット |
| 6 | フランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x 3 インチ |
| 10 | 平ワッシャ $\frac{1}{2}$ インチ |
| 6 | ロックナット $\frac{1}{2}$ インチ |

手順

1. 図 18 のように、ROPS ブラケットを取り付けるフランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x 3 インチ 3 本、平ワッシャ $\frac{1}{2}$ インチ 5 枚、ロックナット $\frac{1}{2}$ インチ 3 個を使用する。

注 ワッシャは、図 18 に示すように 2 枚を外側に取付けてください。

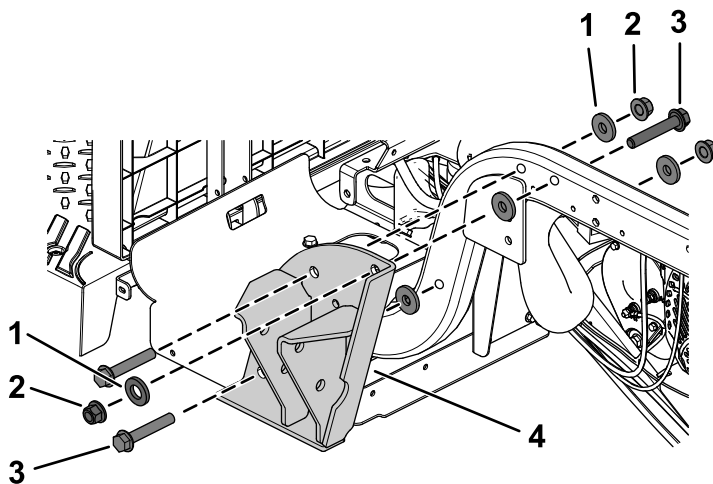


図 18

図は左側を示す

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| 1. 平ワッシャ $\frac{1}{2}$ インチ | 3. フランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x 3 インチ |
| 2. ロックナット $\frac{1}{2}$ インチ | 4. ROPS ブラケット |
2. フランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x 3 インチ 3 本を 94108N·m
4.85.5kg.m = 7080ft-lb にトルク締めする。
 3. 反対側でも同じ作業を行う。

11

ROPS を取り付ける

この作業に必要なパーツ

| | |
|---|--|
| 1 | ROPS バー |
| 4 | フランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x 3 $\frac{1}{2}$ インチ |
| 4 | ロックナット $\frac{1}{2}$ インチ |

手順

注 誰かに手伝ってもらって、ROPS を所定位置に立てる。

1. ROPS の片側を、ROPS ブラケットに固定するフランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x 3 $\frac{1}{2}$ インチ 2 本、ロックナット $\frac{1}{2}$ インチ 2 個を使用して図 19 のように取り付ける。

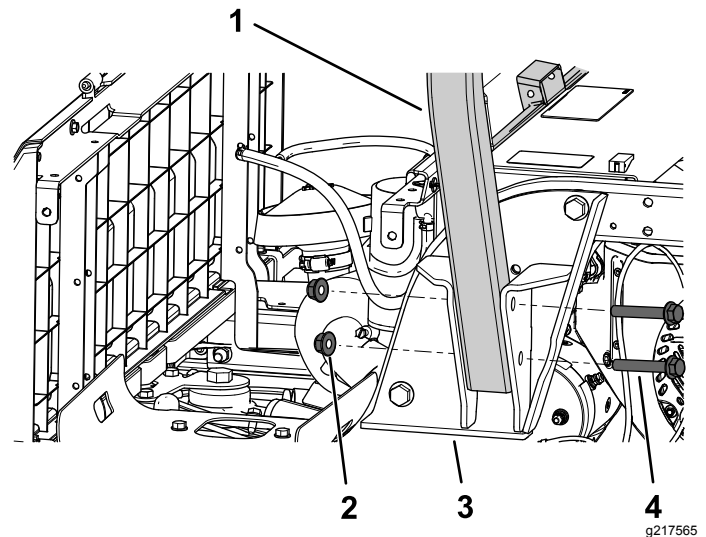


図 19

図は左側を示す

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. ROPS バー | 3. ROPS ブラケット |
| 2. ロックナット $\frac{1}{2}$ インチ | 4. フランジヘッドボルト ($\frac{1}{2}$ x 3 $\frac{1}{2}$ インチ) |
2. フランジヘッドボルト $\frac{1}{2}$ x 3 $\frac{1}{2}$ インチを 94108N·m
9.711.0kg.m = 7080ft-lb にトルク締めする。
 3. 反対側でも同じ作業を行う。

12

サイドパネルを取り付ける

必要なパーツはありません。

電動車両の場合

1. 図 7 のように、左サイドパネルを取り付けるトルクスヘッドねじ M6.0 x 22mm 4本を使用する。
2. 図 6 のように、左サイドパネルにチャージブラケットを固定する先ほど取り外したトルクスヘッドねじ M6.0 x 22mm 4本を使用する。
3. 充電ブラケットからチャージャと充電ケーブルを固定する 図 5。
4. 右側でもステップ 1 の作業を行う。
5. バッテリーを接続する; マシンのオペレーターズマニュアルを参照。

注 バッテリーの接続は正しい手順を守って行ってください。バッテリーのメインプラスケーブル赤を接続し、次にマイナスケーブル黒を接続する。

ガソリン車両の場合

1. 図 9 と 図 11 のように、各サイドパネルを取り付けるトルクスヘッドねじ M6.0 x 22mm を使用する。
2. 図 11 のように、バッテリーベースを右側に固定する先ほど外したフランジヘッドボルト 5/16 x 3/4 インチ 2本を使用する。
3. プラス+ケーブルをバッテリーのプラス端子に、ボルトとナットで接続する 図 10。
4. マイナス-ケーブルをバッテリーのマイナス端子に、ボルトとナットで接続する 図 10。
5. 燃料タンクトレイに燃料タンクを固定する先ほど外したフランジボルトを使用する 図 8。
6. 左サイドパネルにバッテリー押さえを固定する先ほど取り外したねじ 2本を使用する 図 8。
7. タンクに通気チューブと燃料ラインを取り付ける 図 8。

13

手すりを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

手すり 2つを取り付ける先ほど外したフランジボルト 5/16 x 3/4 インチ 3本とフランジナット 5/16 インチ 3個を使用する 図 3 と 図 4。

14

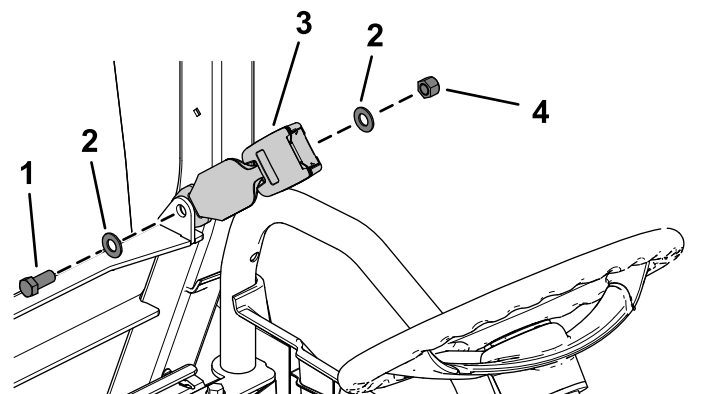
シートベルトを取り付ける

この作業に必要なパーツ

| | |
|---|-----------------------|
| 2 | シートベルト |
| 2 | 座席ラッチ |
| 4 | 六角ヘッドボルト 7/16 x 1 インチ |
| 8 | 平ワッシャ 7/16 インチ |
| 4 | ロックナット 7/16 インチ |

手順

1. 図 20 のように、シートラッチを取り付ける六角ヘッドボルト 7/16 x 1 インチ 1本、平ワッシャ 7/16 インチ 2枚、ロックナット 7/16 インチ 1個を使用する。



g204767

図 20

1. 六角ヘッドボルト 7/16 x 1 インチ
2. 平ワッシャ 7/16 インチ
3. 座席ラッチ
4. ロックナット (7/16 インチ)

2. 六角ヘッドボルト 7/16 x -1 インチを 6881N·m 78kg·m = 5060ft·lb にトルク締めする。

3. 他のシートラッチについても、上記の手順1と2を行う。
4. 図 21のように、シートベルトを取り付ける六角ヘッドボルト 7/16 x 1 インチ1 本、平ワッシャ 7/16 インチ2 枚、ロックナット 7/16 インチ1個を使用する。

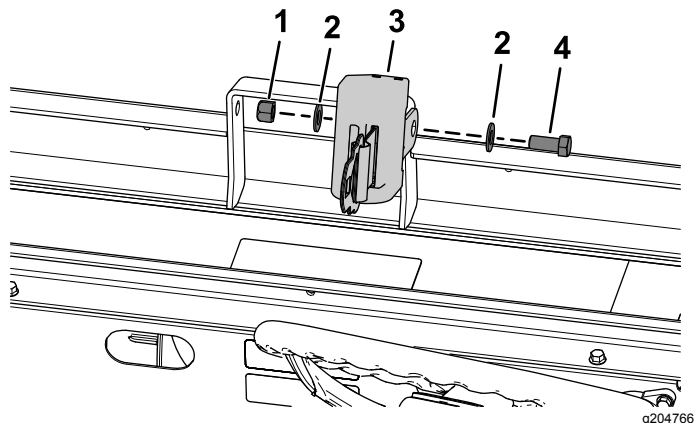


図 21

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. ロックナット(7/16 インチ) | 3. シートベルト |
| 2. 平ワッシャ7/16 インチ | 4. 六角ヘッドボルト7/16 x 1 インチ |

5. 六角ヘッドボルト 7/16 x -1 インチを6881N·m 78kg.m = 5060ft-lbにトルク締めする。
6. 他のシートベルトについても、上記の手順4と5を行う。

15

座席アセンブリを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

座席アセンブリを横にスライドさせてピンに取り付ける 図 22。

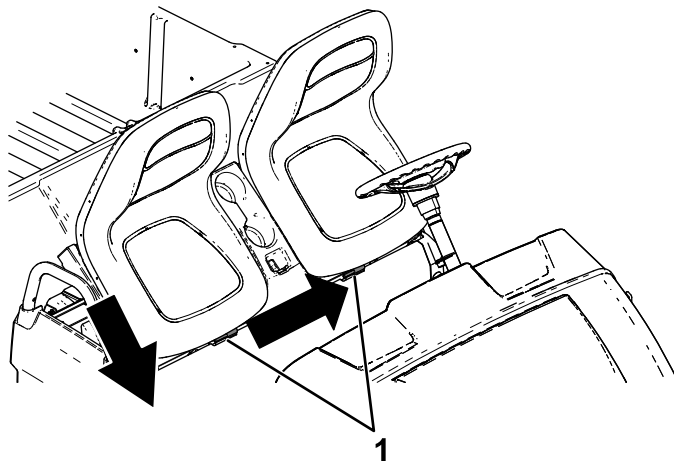


図 22

16

ROPS エクステンションを取りつける

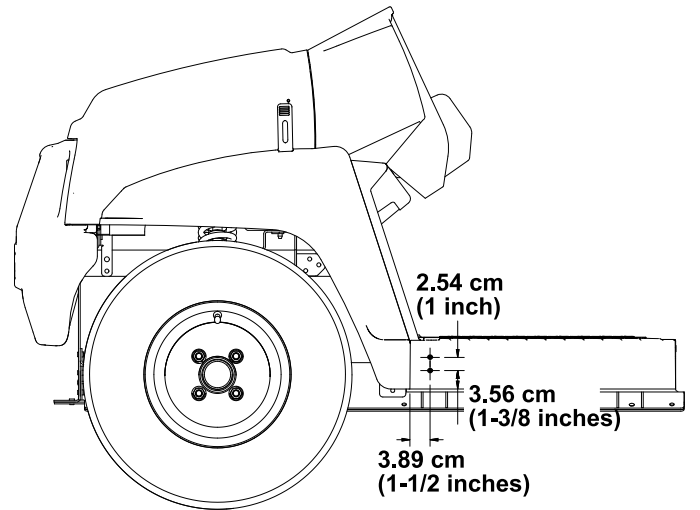
この作業に必要なパーツ

| | |
|----|--|
| 1 | 左風防サポート |
| 1 | 右風防サポート |
| 1 | 前サポート |
| 1 | 後日よけサポート |
| 1 | 左前マウントブラケット |
| 1 | 右前マウントブラケット |
| 1 | 左後マウントブラケット |
| 1 | 右後マウントブラケット |
| 1 | 左後コーナーガセット |
| 1 | 右後コーナーガセット |
| 1 | 左前コーナーガセット |
| 1 | 右前コーナーガセット |
| 1 | 前クロスリンク |
| 2 | クロスリンクチューブ |
| 28 | フランジナット5/16 インチ |
| 2 | ナット $\frac{1}{4}$ インチ |
| 2 | 六角ヘッドフランジボルト $\frac{1}{4}$ x 1 $\frac{1}{2}$ インチ |
| 16 | キャリッジボルト5/16 x 1 $\frac{3}{4}$ インチ |
| 2 | 六角フランジボルト5/16 x 1 インチ |
| 6 | キャリッジボルト5/16 x 2 $\frac{3}{4}$ インチ |
| 4 | キャリッジボルト5/16 x 1 インチ |

手順

注 指示があるまでどのボルトも本締めを行わないでください。

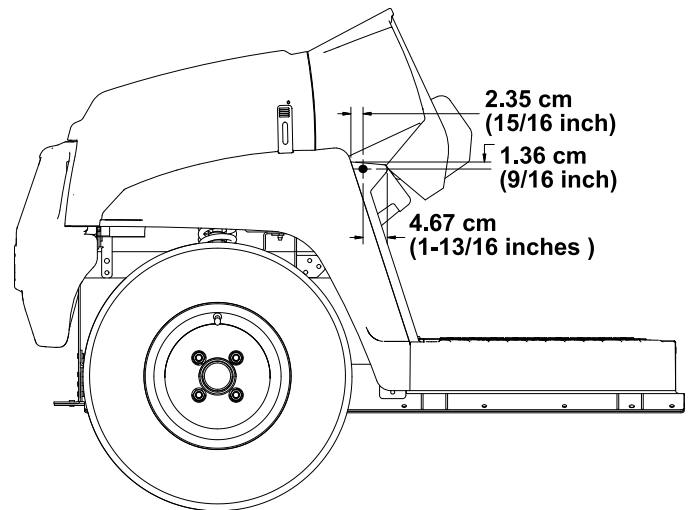
1. 機体の左右のフロアプレートの外側の、[図 23](#)に示された寸法位置に、直径 8mm の穴を 2 ヶ所開ける。



g219523

図 23

2. 機体の左右のフットボードの外側の、[図 24](#)に示された寸法位置に、直径 8mm の穴を 1 ヶ所開ける。



g219522

図 24

3. 左右の風防サポートのミドルブラケットを機体に固定する六角フランジボルト5/16 x 1 インチ2本とナット5/16 インチ2個を使用して先ほど開けた穴に取り付ける [図 25](#)。

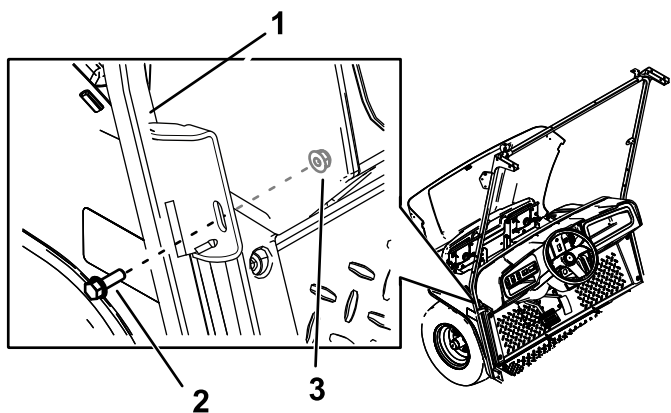


図 25

1. ウインドシールドサポート
2. 六角フランジボルト5/16 x 1 インチ
3. ナットダッシュフレームの内側5/16 インチ

4. 左右の風防サポートの下側ブラケットを機体に固定するキャリッジボルト5/16 x 1 インチ4本とフランジナット5/16 インチ4個を使用してステップ1で開けた穴に取り付ける図 26。

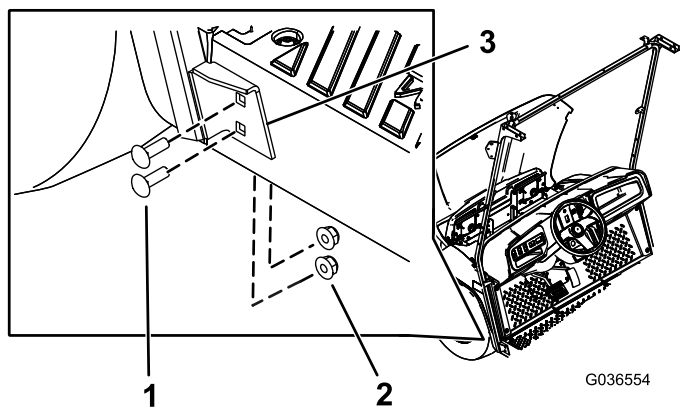


図 26

1. キャリッジボルト5/16 x 1 インチ
2. フランジナット5/16 インチ
3. 風防サポートの下側ブラケット

5. キャリッジボルト5/16 x 2 3/4 インチ2本とフランジナット5/16 インチを使って、日よけの後サポートと後スクリーンを ROPS に固定する図 27。

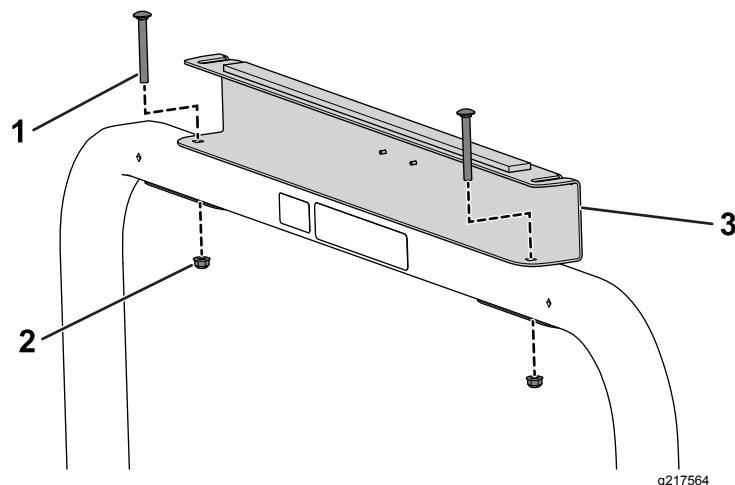


図 27

1. キャリッジボルト5/16 x 2 3/4 インチ
2. フランジナット5/16 インチ
3. 後スクリーン
4. 後日よけサポート

6. キャリッジボルト5/16 x 2 3/4 インチ4本とフランジナット5/16 インチを使って、日よけの後取り付けブラケットと後コーナーガセットを ROPS に固定する図 28。

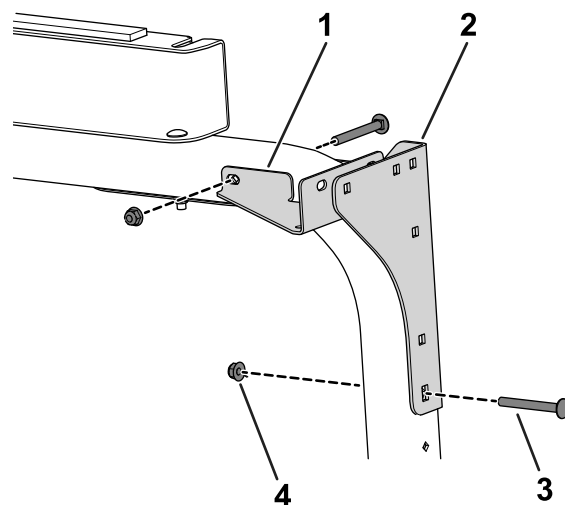


図 28

1. 後コーナーガセット
2. 後取り付けブラケット
3. キャリッジボルト5/16 x 2 3/4 インチ
4. フランジナット5/16 インチ

7. 後取り付けブラケットと後コーナーガセットにクロスリンクチューブを仮止めするキャリッジボルト5/16 x 1 1/4 インチ4本と、フランジナット5/16 インチ4本を使用して図 29のように取り付ける。

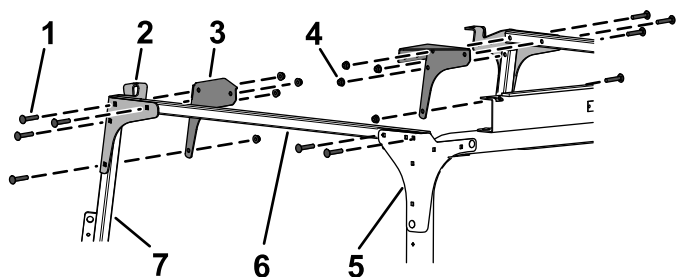


図 29

1. キャリッジボルト5/16 x 1 $\frac{1}{4}$ インチ
2. 前取り付けブラケット
3. コーナー部ガセット
4. フランジナット5/16 インチ
5. 後取り付けブラケット
6. クロスリンクチューブ
7. 風防サポート

8. クロスリンクチューブと左右の風防サポートに前取り付けブラケットと前コーナーガセットを仮止めするキャリッジボルト5/16 x 1 $\frac{1}{4}$ インチ8本とフランジナット5/16 インチ8個を使用して図 29 のように取り付ける。
9. 前取り付けブラケットに前クロスリンクを仮止めするキャリッジボルト5/16 x 1 $\frac{1}{4}$ インチ4本と、フランジナット5/16 インチ4本を使用して図 30 のように取り付ける。

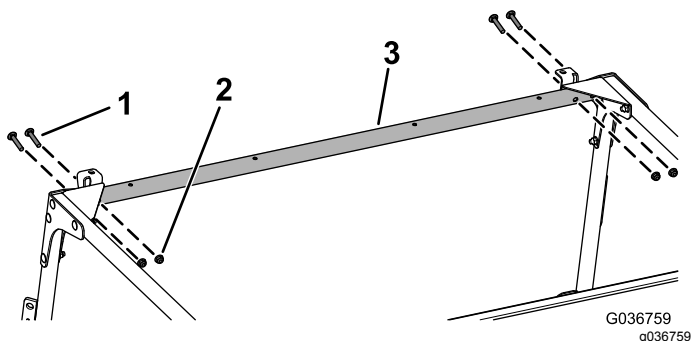


図 30

1. キャリッジボルト5/16 x 1 $\frac{1}{4}$ インチ
2. フランジナット5/16 インチ
3. 前クロスリンク

10. 前クロスリンクに前サポートを取り付ける六角ヘッドフランジボルト $\frac{1}{4}$ x 1 $\frac{1}{2}$ インチ 2本、ナット $\frac{1}{4}$ インチ2個を使用する図 31。

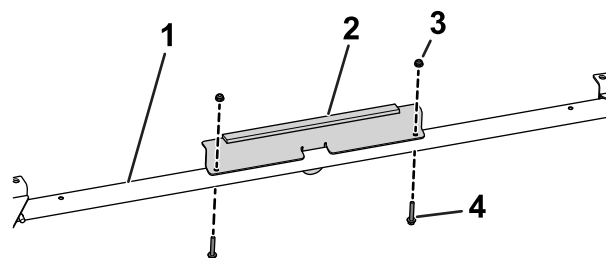


図 31

1. 前クロスリンク
2. 前サポート
3. ナット $\frac{1}{4}$ インチ
4. 六角ヘッドフランジボルト $\frac{1}{4}$ x 1 $\frac{1}{2}$ インチ

11. 全部のボルト類を本締めする。

17

日よけを取り付ける

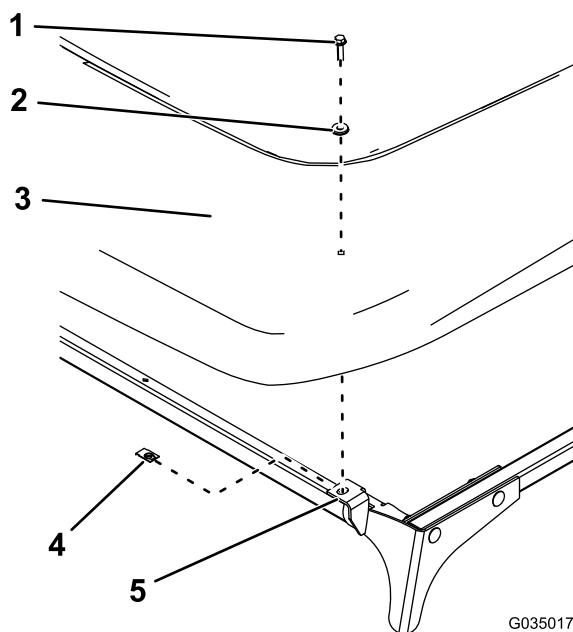
この作業に必要なパーツ

| | |
|---|---------------------------------|
| 1 | サンシェード |
| 2 | クリップ |
| 4 | シーリングワッシャー |
| 4 | 六角フランジボルト $\frac{1}{4}$ x 1 インチ |
| 2 | フリクションワッシャー |
| 4 | プラスチックワッシャー |
| 2 | フランジブッシュ |

手順

1. サンシェードを前プレートに取り付けるクリップ2個、シーリングワッシャー2枚、六角フランジボルト $\frac{1}{4}$ x 1 インチ2本を使用して図 32 のように取り付ける。

重要取り付け前に、六角フランジボルトにロックングコンパウンドを塗布する。

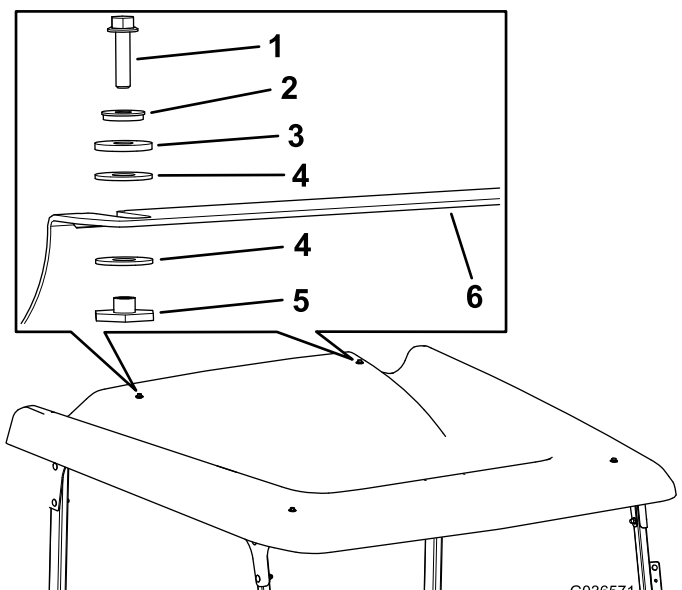


G035017

g035017

図 32

- | | |
|---------------------------------------|----------|
| 1. 六角フランジボルト $\frac{1}{4}$ x 1 インチ | 4. クリップ |
| 2. シーリングワッシャ | 5. 前プレート |
| 3. サンシェード | |



G036571

g036571

図 33

- | | |
|---------------------------------------|---------------|
| 1. 六角フランジボルト $\frac{1}{4}$ x 1 インチ | 4. プラスチックワッシャ |
| 2. シーリングワッシャ | 5. フランジブッシュ |
| 3. フリクションワッシャ | 6. 後クロスリンク |

2. 後クロスリンクにサンシェードを取り付ける六角フランジボルト $\frac{1}{4}$ x 1 インチ2本、シーリングワッシャ2枚、フリクションワッシャ2枚、プラスチックワッシャ2枚、フランジブッシュ2個で固定する図 33。

重要 取り付け前に、六角フランジボルトにロッキングコンパウンドを塗布する。

重要 サンシェードを破損から保護するために、プラスチック製ワッシャをサンシェードの上下に取り付けてください。



Toro 製品保証

年間品質保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro フランチャイズ社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されますエアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われる場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂く必要があります。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740
E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、その他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラーへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。

- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかは判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後3-5年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額減方式となります。さらに詳しい情報については、オペレーターズマニュアルをご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生する間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧ください。